

あおぞら

行方市 社協だより

No.50 2018.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



＊クロッケーの部 【優勝】本宿クラブB
＊ゲートボールの部 【優勝】豊和(新田親和会)
＊ペタンクの部 【優勝】上山老人クラブ
＊輪投げの部 【優勝】しらほ(白浜白寿会)
＊グラウンドゴルフの部 【優勝】野原 秀雄
(敬称略) 【準優勝】真家 幸治
【第3位】斉藤 昭夫
【第4位】理崎 なか
【第5位】野原 照江
【第6位】成島 恵美子

6月27日(水) 行方市北浦第一グラウンドで、第3回行方市老人クラブ連合会スポーツ大会を行いました。また、7月11日(水)には、高須崎公園にてグラウンドゴルフの部が行われました。各種目の優勝チーム及びグラウンドゴルフ上位6名の方は、10月11日(木)に笠松運動公園で行われる第23回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会へ出場が予定されています。

も く じ

○平成29年度社協事業報告及び
決算報告…………… 2～4
○いきいき長寿者紹介…………… 5
○福祉な声…………… 6

○おしらせ…………… 7
○共同募金・歳末たすけあい運動
豪雨災害義援金の募集
善意銀行・編集後記…………… 8

平成29年度 事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～を目指して

主に次のような事業を実施いたしました

【会員数】

- ・一般会員 8,157世帯
- ・賛助会員 63世帯
- ・特別会員 129事業所

【善意銀行運営事業】

・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。
(指定寄附金2件、一般寄附金57件、物品等寄附20件)

【地域福祉事業】

○高齢者福祉事業

〈給食サービス事業〉

在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。

麻生地区 延べ1,951食

協力 麻生地区給食ボランティア

北浦地区 延べ1,538食

協力 ボランティアグループさわやか

北浦地区食生活改善推進員

玉造地区 延べ2,417食

協力 玉造地区給食ボランティア



給食サービス事業

〈介護予防事業〉

・サロン活動支援

高齢者が生涯健康で生きがいを持つて社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。
(2ヶ所 計147回 延べ691人参加)

・元気で～さ～びす館

高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(4ヶ所 計98回 延べ1,517人参加)

○障害児(者)福祉事業

〈ビックリ・発見・夏キャンプ〉

共同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。(参加者 145人 協力 アール医療福祉専門学校)

〈のびのびサポート事業〉

長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(10回延べ53人参加)



ビックリ・発見・夏キャンプ

〈こころのサロン〉

こころの病を抱える方等を対象に外出の機会を持ち、引きこもり防止の目的で交流会を開催しました。(2回 9人参加)

○母子・父子福祉事業

ひとり親家庭ふれあい遠足
(3家族参加)

○子育て支援事業

〈子育てサポート事業〉

子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間 201時間)

〈養育支援訪問事業〉

支援が必要であると認められた家庭に対し育児支援ヘルパーや保育サポーターを派遣しました。
(6回 6時間)

○ボランティア活動の推進

〈ボランティア活動センター事業〉

ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録29団体 650人 依頼件数19件 派遣延べ人数105人)



福祉体験(手話)

〈福祉教育の推進〉

高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。

(計3回実施)

○共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・法人募金・イベント募金・設置募金・職域募金・街頭募金を実施しました。

赤い羽根自動販売機2台設置
(募金総額4,417,768円)



赤い羽根共同募金運動

○歳末たすけあい運動

市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々に対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施し

ました。(掃除4件 除草等36件 障子張り63件 網戸張替40件 窓掃除39件 廃棄処分27件)

【相談支援事業】

○法律相談事業

弁護士による無料法律相談を実施しました。
(毎月1回 相談件数47件)

○日常生活自立支援事業

自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。(相談件数16件 利用者数4名)

【資金貸付事業】

○生活福祉資金貸付事業

(茨城県社会福祉協議会より事務委託)

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数16件 内貸付件数1件)

【在宅生活支援事業】

○福祉機器貸出事業

疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(129件)

○福祉車両貸出事業

障害者や高齢者及びその家族の方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。

(227件)

○訪問歯科治療機器貸出事業

歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。(4件)

○在宅福祉サービスセンター事業

高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 述べ1,881件 利用時間 延べ3,509時間)

○在宅言語等リハビリアドバイス事業

病気やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(12回 延べ43人)

10月16日、「いつまでも美味しく食べて健康に暮らすために」をテーマに研修会を開催しました。

講師 言語聴覚士 勝又綾子 参加者21名

【広報啓発事業】

○社協だより「あおぞら」の発行

(6,9,12,3月)

○ホームページの管理運営

【介護保険事業】

○居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護延べ1,890件 予防延べ115件 第1号介護予防延べ119件 介護保険認定調査 93件)

医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。(65件)

○訪問介護事業

指定訪問介護事業所の運営を行い、要介護の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ13,040人 派遣時間 延べ12,740時間15分)

○第一号訪問介護事業

事業対象者、要支援の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ1,511人 派遣時間延べ1,498時間37分)

【障害者福祉サービス事業】

○居宅介護

指定訪問介護事業所（総合支援法）の運営を行い、障害者（身体・知的・精神）への身体介護・家事援助サービスを実施しました。（利用者数延べ5,041人 派遣時間4,932時間16分）

○同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報の提供（代筆・代読を含む）移動の援護等の外出支援を行いました。（利用者数延べ48人 派遣時間延べ73時間35分）

○計画相談支援

指定特定相談支援事業所の運営を行い、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成、関係機関との連絡調整、障害支援区分認定調査を実施しました。（利用者数 障害者78人 児童14人 障害支援区分認定調査33件）

【地域生活支援事業】

○障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。（利用者数 延べ4人 派遣時間延べ16時間12分）

【その他社会福祉関連事業】

○新公共交通システム事業

利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー（ニemand型乗合タクシー）の運行を実施しました。（利用者登録数 4,184人 利用者数 延べ16,498人）



乗合タクシー予約センター

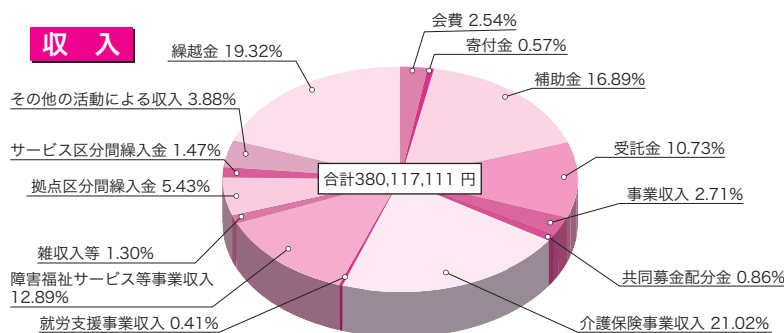
【当事者団体支援事業】

行方市老人クラブ連合会
行方市ボランティア連絡協議会
行方市身体障害者福祉協議会
行方市遺族会
の運営支援を行いました。

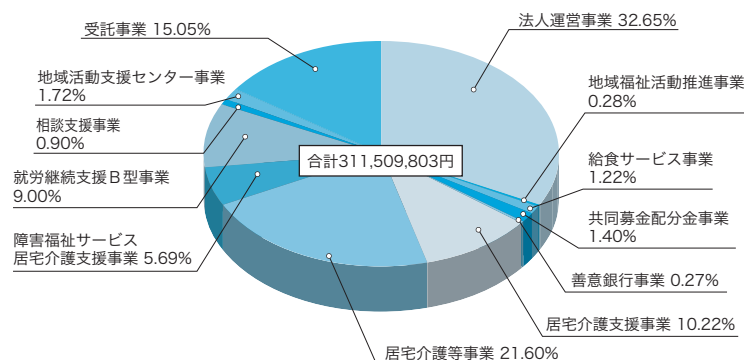
(単位：円)

平成29年度 決算報告

収入



支出



会費	9,637,000
寄付金	2,157,853
補助金	64,205,500
受託金	40,797,174
事業収入	10,285,682
共同募金配分金	3,263,836
介護保険事業収入	79,913,669
就労支援事業収入	1,546,964
障害福祉サービス等事業収入	49,013,970
雑収入等	4,929,661
拠点区分間繰入金	20,633,000
サービス区分間繰入金	5,573,000
その他の活動による収入	14,737,290
線越金	73,422,512
合計	380,117,111

法人運営事業	101,705,310
地域福祉活動推進事業	862,339
給食サービス事業	3,797,968
共同募金配分金事業	4,357,882
善意銀行事業	848,750
居宅介護支援事業	31,826,343
居宅介護等事業	67,276,982
障害福祉サービス居宅介護事業	17,739,842
就労継続支援B型事業	28,037,298
相談支援事業	2,818,436
地域活動支援センター事業	5,355,196
受託事業	46,883,457
合計	311,509,803

いきいき長寿者紹介

原田 やすさん 96歳 (行方市若海)



「暑い中、ご苦労さま」の一言で出迎えてくれました。ここ数日、高温注意情報が出るくらい暑い毎日が続いていました。

やすさんは、大正11年生まれ

8月で満96歳、玉造の諸井にお生まれになりました。戦争中は、青年会の手伝いを毎日していたそうです。戦争が終わって

2年が経ち24歳の時に結婚を

し、今の地での生活が始まったそうです。現在、二女夫婦、お孫さんと3世代4人で暮らしています。



やすさんは、毎日の日課として新聞は欠かさず読んでいます。驚いたことに眼鏡を使わずに読んでいるとの事でした。また、毎日テレビを見ながら手の運動や指の運動をしているそうです。週2回デイサービスにも行っているとの事で、「みんなとおしゃべりをするのが楽しみです」と話してくれました。

生きがいは何ですかと聞いてみると、「ひ孫が12人、やしやごが1人、この子たちの成長が楽しみ、元気で丈夫でいることが一番の楽しみ、また生きがいでもあるよ」と話してくれました。

家族に感謝

家族がみんな良くしてくれて、何をしてもらっても、ありがたう、感謝の気持ちを忘れなりました。

インタビュー中、常に穏やか

な表情で接してくれていたやすさんでしたが、お孫さんや家族の話になると特別な笑顔で答えてくれました。

最後にこれからの目標を聞いてみると、「スポーツを見るのが好きなので、2020年東京オリンピックを見たい。」と言うと、「その2年後には、100歳よ」と娘さんに言われて笑みがこぼれていました。

そして、「なるべく家に長くいられるよう頑張ってるね、誕生日にはご飯でも食べに行きましょ」と、優しい言葉がかけられました。

ご家族の良い関係が現れているようでした。

約1時間という取材時間の中、終始笑顔で答えてくださったやすさん、これからもお体に気を付けてお過ごしください。

介護老人保健施設 かすみがうら

〒311-3502 茨城県行方市若海793-5
電話0299-55-0122

私たちの住む地域には、いくつかの介護施設があります。

介護老人保健施設は、主に医療ケアやリハビリを必要とする要介護者が入居できる施設です。在宅復帰を前提としたリハビリが中心となります。

今回は、介護老人保健施設「かすみがうら」で介護職に励む職員お二人にお伺いしました。

左：堀田さん 右：大久保さん



福祉な

声

インタビューコーナー

主な年間行事

- ・お花見 ・夕涼み会
- ・敬老会 ・運動会
- ・クリスマス会



夏祭り



西蓮寺銀杏見物



大場家雛飾り見学

この仕事を始めたきっかけは

人と直接関わる仕事がしてみたかった。中学生の時にホームヘルパーを取得する機会があり、それから福祉の仕事に興味を持ちました。（堀田さん）

物心付いた頃より共働きであった両親に代わり、自分の面倒を見てくれたのが祖母であり、高齢者と触れ合うことも多く高齢者とのコミュニケーションに抵抗がなかった。また、性格上人と接する事が好きだったため介護の仕事に就きました。（大久保さん）

心掛けていること、やりがいや魅力

利用者様の気持ちに寄り添ったケアができるよう心がけています。声掛けによって利用者様の笑顔が見られたり、穏やかな気持ちで過ごしていただけるとやりがいを感じます。（堀田さん）

自分の身になって物事を考え、サービスを提供するよう努めています。「ありがとう」の言葉をいただいたときに人の役に立っているのだと実感します。この仕事は、皆が思っているきつい仕事ではなくむしろ楽しい仕事だと思います。（大久保さん）

日々の仕事の内容

在宅復帰を目指してスタッフと連携をとりサービス提供を行い、食事、入浴、排せつ等の生活支援を行っています。（大久保さん、堀田さん）

思うこと!!

国を挙げて福祉の仕事のイメージを明るいものに、若い人材が先入観や偏見なく入職してこれるようにしてほしいと思います。（大久保さん）

「かすみがうら」では、介護を必要とする方でもご本人の生活スタイルを最大限尊重するため、個室療養室を充実させています。落ち着いた空間でリハビリやレクリエーションを通じて多くの方と触れ合い、身体能力・生活の質向上を目指したサービス提供を行っています。



～食の支援活動～

きずなBOXを設置しました

「もったいない……」を「ありがとう!!」へ

ご家庭に眠っている食品はありませんか？

常温保存が可能で、賞味期限が2ヶ月以上残っている未開封の食品

・お米 ・缶詰 ・レトルト食品 ・インスタント麺
・乾麺（うどん・そば・パスタなど） など……

【お願い】

※要冷蔵、要冷凍の食品、野菜や果物などの生鮮食品は入れないください。
※割れやすい容器の食品は梱包してください。

食品の
流れ

食品を「きずなBOX」
に入れる

NPの法人
フードバンク茨城へ

支援を必要と
している方へ

【設置場所・時間】 行方市役所玉造庁舎 ロビー1階 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

地域の方のご協力をお待ちしています

給食サービスボランティア募集

ひとり暮らしの高齢者等を対象に、お弁当を届ける給食サービス事業を行っています



ます（麻生地区月3回・水曜日 北浦地区月3回・金曜日 玉造地区月3回・木曜日）

そこで、お弁当の調理または配達に協力していただける方を募集します。

興味のある方はご連絡ください。

☆活動内容 お弁当の調理・配達（どちらか一方のみの活動でも結構です）

ボランティア連絡協議会 からのお知らせ

行方ふれあいまつりが、平成30年11月10日（土）11日（日）に開催されます。



その会場で11月11日にチャリティバザーを出店いたします。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

また、ボランティア連絡協議会では会員を募集しています。現在ボランティア活動を行っているグループや個人の方、これからボランティアを始めようとしている方等、研修会や交流等を通して私たちと活動してみませんか。



楽しかったね!! 夏休み……



今年の夏休みも、ボランティア及び学生のみなさんの協力を得て、10日間の日程でのびのびサポート事業を実施しました。この事業は障害児のレスパイト（日常的なケアの負担軽減）を目的として実施しております。

その名の通りみんなのびのび! 10日間怪我なく楽しく過ごせました。



電車に乗ったよ!



これから避難訓練です。
ちゃんと聞いてね

行方市善意銀行

平成30年5月1日から平成30年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金（順不同・敬称略） 寄付金

預 託 者 名	金額 (円)	指定先
荒張 高一	20,000	無指定
石神勝徳・江津子	80,000	無指定
石神勝徳・江津子	20,000	ドリームハウス
一二三会	36,844	無指定
なめがた地域医療センター看護部	30,230	無指定
鹿行地域労働者福祉協議会	10,000	無指定
石橋 和雄	10,000	無指定
麻生小学校	8,000	無指定



一二三会



麻生小学校

会社を退職し今年で3年目となる。日々の過ごし方にもすっかり慣れ無職人生も板についた。毎朝のウォーキングと毎夜のゴルフ練習を大事な日課とし、加えて少々自家菜園や花木等の手入れと、たまに会う孫が今の生きがいである。今年も盆前の花木生垣の剪定は7月中旬に終えた。会社人生は13回転勤し、内20年を単身東京で過ごした。単身生活は気楽ではあったが、「日々の仕事は難波で夜の心身を癒す一杯」は必須であった。お陰かどうか、2度も手術入院する羽目となったが、今は医療の助けを得ながらそこそこ元気な日々を送っており感謝している。（熊谷一男）

編集後記

広報委員

委員長	磯山 正子	委員	代々城千尋
副委員長	熊谷 一男		高柳 利子
委員	金井 裕子		大原 孝
	菅谷 京子		横田 照実
	渋谷 節夫		漢那 浩子



平成30年度 共同募金運動

◇ 赤い羽根共同募金運動 ◇

（10月1日～12月31日）

本年度も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります

行方市でも、各地区における戸別募金を始め、街頭募金やイベント募金、そして事業所の協力による募金など、募金運動を展開する予定となっております。

また、皆様からお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動に役立てさせていただきます。



◇ 歳末たすけあい事業 ◇

（12月1日～12月31日）

歳末たすけあい事業は、市内に在住する支援を必要としている方々へ新たな年を迎える時期に、家事援助等のサービスを実施しています。

○昨年度歳末たすけあい事業の様子



窓掃除



廃棄物の処理



茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会
〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
TEL: 0299 (36) 2020

お問い合わせ

「平成30年7月豪雨災害義援金」の募集

この度の「平成30年7月豪雨災害」につきましては、現在11府県に災害救助法が適用されております。中央募金会では、上記の災害により被災された方々を支援するため義援金を募集しています。



受付締め切り：平成30年12月28日（金）

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報誌 あおぞら」や「市報 なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。